

道路改良調査設計業務委託

特記仕様書

令和2年7月

明日香村

第1章 総則

(目的)

本業務は、新たな拠点に対応した公共交通の実現に向けた交差点計画（交差点予備設計）を行うものとする。

(業務内容)

1. 委託内容
 - (1) 交通量調査 1 式
 - (2) 測量業務 1 式
 - (3) 平面交差点予備設計 1 式
2. 委託場所 明日香村大字野口地内
3. 委託期間 契約締結日の翌日より令和3年2月26日

(配置技術者)

受注者は、管理技術者および照査技術者をもって、秩序正しく業務を行わせるとともに高度な技術を要する部門については、相当の経験を有する技術者を配置しなければならない。

- (1) 管理技術者は、技術士（総合技術監理部門 建設-道路、または建設部門 道路）、又は RCCM（道路）の資格を有すること。
- (2) 照査技術者は、技術士（総合技術監理部門 建設-道路、または建設部門 道路）、又は RCCM（道路）の資格を有すること。また、照査技術者は管理技術者を兼ねることができない。

第2章 業務内容

(設計計画)

業務の目的、趣旨をよく理解し、業務方針を立案したうえで、①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画、⑤打合せ計画、⑥成果品の品質を確保するための計画、⑦成果品の内容・部数、⑧使用する主な図書及び基準、⑨連絡体制等を示した業務計画書を作成し、監督員の承諾を得る。

また、本業務履行に伴い必要となる資料について受注者より提案を行い、監督員との協議のもとで収集・整理を行う。

(既存資料整理)

監督員から提示する資料や関連する公表資料等に基づき、当該設計区間に適用できる基礎資料の収集・整理を行う。

(現地踏査)

新規に交差点計画を行うことを目的に、地上物件、地下埋設物、沿道家屋の状況を詳細に踏査する。

現地踏査の結果は、本業務で実施する関係機関協議や発注者における今後の事業実施時の活用を前提に、統合的なデータベースとして整理を行う。現地踏査結果の整理方法については、受注者からの提案に基づき監督員との協議により決定する。

(交通量調査)

(1)調査箇所

調査箇所は、別添図面に示す箇所とする。(2断面)

(2)調査概要

調査箇所	調査目的	調査方法	調査時間	観測内容
交通量調査 2断面	自動車交通状況の 把握	マニュアルカウント	7:00~19:00 (12時間調査) 平日1回	方向別交通量 (自動車類)

(3)調査方法

●自動車交通量調査

調査地点において、通過する車両を車種別・方向別・時間別にマニュアルカウンター（あるいは画像による自動測定器）を用いて観測し、調査表に記録する。

又、調査結果は以下の車種分類で1時間毎に集計を行い取りまとめる。

表 交通調査の調査車種区分

車種	内容	車頭番号
乗用車	乗用車、ワゴン車、軽乗用車	5、3、8、7、5
バス	バス	2
小型貨物車	小型トラック、ライトバン、軽トラック等	4、3、6
普通貨物	大型トラック、タンクローリー等	8、9、0、1
自動二輪	自動二輪車、原付	

(測量)

(1)4級基準点測量・現地測量（縮尺 1/500）

交差点予備設計を実施するに際し、設計対象箇所を中心にした4級基準点測量及び現地測量を実施する。

(2)路線測量

交差点計画箇所の主道路について、路線測量を実施する。

主道路の中心線は、交差点平面計画に必要な範囲で設定する。

(交差点予備設計)

別添箇所を示す交差点計画箇所において平面交差点予備設計を実施する。

設計条件は、別途指示する。

設計項目は下記のとおりとする。

平面・縦断設計	横断設計
交差点容量・路面標示	設計図
関係機関との協議資料作成	数量計算
概算工事費算出	照査
報告書作成	

●関係機関協議

計画する交差点について、関係機関との協議を行う。そのための資料作成を実施する。

関係機関；奈良県、橿原警察署

(報告書作成)

本業務の成果として、検討の条件・内容・経緯・結果等について、図表等を用いてわかりやすく報告書に整理する。

また、本業務の成果全体の概要を簡潔に示した報告書ダイジェスト版をとりまとめる。

交通量調査位置図

